

# 安全データシート

作成日 2020年12月1日

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名 :ユニポラス  
製品コード :HS-221  
会社名 :北海道曹達株式会社  
住所 :北海道登別市千歳町2丁目12番地  
電話番号 :0143-85-2411  
FAX番号 :0143-85-2507

## 2. 危険有害性の要約

人の健康に対する有害性

環境への影響

物理的及び化学的危険性

特有の危険有害性

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口) :区分外  
急性毒性(経皮) :区分5  
急性毒性(吸引・ガス) :分類対象外または分類できない。  
急性毒性(吸引・ミスト) :分類対象外または分類できない。  
皮膚腐食性・刺激性 :区分5  
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 :区分2A  
呼吸器感受性と皮膚感受性 :分類対象外または分類できない。  
生殖細胞変異原性 :分類対象外または分類できない。  
生殖毒性 :分類対象外または分類できない。  
特定標的臓器・全身毒性(単回曝露) :分類対象外または分類できない。  
特定標的臓器・全身毒性(反復曝露) :分類対象外または分類できない。  
吸引呼吸器有害性 :分類対象外または分類できない。

環境に対する有害性

水生環境急性有害性 :区分外  
水生環境慢性有害性 :区分外

絵表示またはシンボル

注意喚起語 :警告(シンボルマーク、なし)  
危険有害性情報 :皮膚刺激(軽度)、目刺激  
粉塵爆発の可能性 :現段階での発生は確認されていない。

注意書き

予防策 :保護眼鏡、呼吸器用保護具、保護手袋を着用すること。  
使用前に取扱説明書入手すること。  
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
必要に応じて個人用保護具を使用すること。  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
粉塵を吸引しないこと。

|          |   |
|----------|---|
| 対応       | : 皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。<br>目に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。<br>吸引した場合は、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 |
| 保管<br>廃棄 | : 直射日光を避け、吸湿防止の為、密閉して換気の良い屋内に保管すること。<br>: 内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。  |

### 3. 組成及び成分情報

|                |                              |
|----------------|------------------------------|
| 単一製品・混合物の区分    | : 単一製品(天然物)                  |
| 化学名又は一般名<br>別名 | : 炭酸カルシウム(Calcium carbonate) |
| 化学式(化学特性)      | : $\text{CaCO}_3$            |
| 含有量            | : 90%以上                      |
| 化審法番号          | : 1-122                      |
| 安衛法番号          | : 公表化学物質                     |
| CAS番号          | : 471-34-1                   |

### 4. 応急措置

|           |   |
|-----------|---|
| 吸入した場合    | : 空気の新鮮な場所へ移し、安静にする。<br>鼻、口の中を水で洗浄しうがいをする。異常のある場合は医師の診断を受ける。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける。<br>多量の場合は、医師の診断を受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 直ちに多量の水と石鹼で洗う。<br>洗浄後も痛みのある時は、医師の診断を受ける。  |
| 目に入った場合   | : 眼球を傷つける恐れがある為、目を擦らないで、清浄な水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。<br>その後も洗浄を続け、直ちに医師の診断を受けること。     |
| 飲み込んだ場合   | : 清浄な水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診断を受ける。<br>多量の場合は、多量の水または、食塩水を飲ませ吐かせた後、医師の診断を受ける。                                 |

### 5. 火災時の措置

|           |  |
|-----------|--|
| 消火剤       | : 不燃物質であり、この製品自体は燃焼しない。<br>一般的な消火剤が使用可。<br>周辺火災の場合は、周辺火災に適した消火剤を使用する。                      |
| 特有の消火方法   | : 一般的な火災の消火方法による。<br>周辺火災の場合、可能な場合は容器を安全な場所に移す。<br>移動不可能な場合は、容器に注水して冷却する。<br>注水は飛散防止に配慮する。 |
| 消火を行う者の保護 | : 消火作業の際は必ず防火具、防煙具、耐熱具を着用する。   |

### 6. 漏出時の措置

|             |   |
|-------------|---|
| 人体に対する注意事項、 | : 処理作業の際には、保護具(保護メガネ、防塵マスク、保護手袋、保護衣)を着用し、粉塵の吸引や、皮膚への付着を防止する(P1 不活性粒子用のフィルター付マスク)。 |
| 環境に対する注意事項  | : 飛散拡大の防止を図る。河川等に流入しないように注意する。作業場、排水系から外部に流出させないように回収する。                          |
| 回収、中和       | : 粉塵が発生しないように、ほうきや掃除機で掃き取り、空容器を回収する。  |

二次災害の防止 : 風雨等による再飛散の恐れのある場合は、シート等によって覆う。  
廃棄の場合は、産業廃棄物扱いとする。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 : 粉塵を立てないような容器、輸送手段、移送手段を用いることが望ましい。  
保護具(保護メガネ、防塵マスク、保護手段、保護衣)を着用する。  
局所排気・全体換気 : 取扱いは換気のよい場所で行い、必要な場合は局所排気を行う。  
注意事項  
安全取扱注意事項 : 破裂防止の為、製品の衝撃、落下に注意すること。  
荷崩れしないように、製品の積み重ねは丁寧に行い、積み荷の制限を守る。  
吸湿させないようにパレットの上に置く等の措置を取る。  
取扱後は、皮膚・顔面等の露出部分を石鹸でよく洗う。  
作業衣はよく洗濯する。

### 保管

保管条件 : 高温多湿を避けて、屋内保存庫に保管する。  
容器は直射日光を避け、冷暗所に密閉して貯蔵する。  
バラ荷の場合は、水密タンク・サイロに貯蔵する。  
容器包装材料 : できるだけ透湿性のない材質。

## 8. 曝露防止及び保護措置

### 設備対策

: 取扱いについては、作業者が直接暴露されないようにできるだけ密閉された装置・機械または局所排気装置を使用する。  
換気装置の能力は、粉塵濃度を管理濃度以下にできるものでなければならぬ。  
取扱い現場の近くには洗顔、手洗い等の設備を設ける。

### 管理濃度

: 未設定

### 許容濃度

:

日本産業衛生学会(2009年版)

未設定

ACGIH(2008年版)

TLV: 10 mg/m<sup>3</sup> (TWA)

(アスベスト不含、結晶性シリカ1%未満の微粒子)

### 保護具

呼吸器の保護具 : 防塵マスク  
手の保護具 : 保護手袋(ケミカルグローブ)  
目の保護具 : 保護メガネ(ゴーグル型)  
皮膚及び身体の保護具 : 保護衣(作業着)保護面

## 9. 物理的及び化学的性質

### 外観

物理的状態 : 白色または薄い緑色等の着色を帯びた片状の粒子

形状 : 片状

色 : 白色または薄い緑色等の着色を帯びている

臭い : 無臭または特異なおいがある

融点 : 825℃で分解して二酸化炭素を放出し、酸化カルシウムとなる。

沸点 : 不燃性でありデータ無し。

引火点 : 不燃性でありデータ無し。

爆発範囲 : 不燃性でありデータ無し。

蒸気圧 : データ無し。

比重(相対密度) : 2.6~2.7

溶解性 : 水には実質的に不溶。(1.5mg/100ml)

炭酸ガスを含む水には微溶。

酸と反応して二酸化炭素を放出して溶解する。

オクタノール/水分配係数 : データ無し。  
自然発火温度 : データ無し。  
分解温度 : 825°Cで分解して二酸化炭素を放出し、酸化カルシウムとなる

---

#### 10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の取り扱い条件(常温)では安定。  
反応性 : 強酸と反応して、二酸化炭素を発生する。  
酸・アルミニウム・アンモニア塩と反応する。  
危険有害反応可能性  
避けるべき条件 : 825°Cに加熱すると分解して二酸化炭素を放出し、酸化カルシウムとなる。  
高湿度、熱、直射日光。  
混触危険物 : 酸、アルミニウム、アンモニア塩  
危険有害な生成物 : 酸化カルシウム、二酸化炭素ガス

---

#### 11. 有害性情報

急性毒性 : 経口 ラット LD50 6,450 mg/kgに基づき、区分外。  
経皮 データが無く分類できない。  
吸引 データが無く分類できない。  
皮膚腐食性・刺激性 : ラビット 500 mg/kg 24h 中程度(RTECS)区分5。  
長時間付着すると、肌荒れを起こすことがある。  
眼に対する重篤な影響 : ラビット 750 µg/kg 24h 重度(RTECS)区分2。  
目に入ると痛みを感じ、粘膜を痛めることがある。  
呼吸器感受性 : データが無く分類できない。  
皮膚感受性 : データ無し。  
生殖細胞変異原性 : データ無し。  
発がん性 : IARC、ACGIH、NPT、EPAに記述が無いことから、分類できない。  
生殖毒性 : データ無し。  
特定標的臓器・全身毒性  
(単回曝露) : データ無し。  
(反復曝露) : データ無し。  
吸引性呼吸器有害性 : データが無い為、分類できない。

---

#### 12. 環境影響情報

生態毒性  
魚毒性 : 区分外  
その他 : 毒性無し。  
残留性・分解性 : データ無し。  
生体蓄積性 : データ無し。  
水生環境急性有害性 : 生体に存在するイオン成分であり、水生生物への有害性は低い  
ため区分外。  
水生環境慢性有害性 : 急性毒性、蓄積性は低く、かつ水生環境、生体内に幅広く  
存在するイオン成分であることから区分外。

---

#### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物、汚染容器及び包装 : 関連法規及び地方自治体の基準に従って廃棄する。内容物や容器を  
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に産業廃棄物管理票  
(マニフェスト)を交付して委託処理すること。管理型最終処分場で処分する。

---

#### 14. 輸送上の注意

国連分類 : 該当しない。  
国連番号 : 該当しない。  
国連輸送名 : 該当しない。

海洋汚染物質 : 該当しない。  
日本国内での規制情報 : 容器の破損、吸湿が起きないように、乱暴な取り扱いを避け、荷崩れ防止を確実にを行う。

---

#### 15. 適用法令

化審法 : 特定化学物質・監視化学物質に該当しない。  
労働安全衛生法 : 粉塵障害防止規制  
毒物及び劇物取締法 : 該当しない。  
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) : 該当しない。  
消防法 : 該当しない。  
船舶安全法 : 該当しない。  
航空法 : 該当しない。  
火薬類取締法 : 該当しない。  
高压ガス保安法 : 該当しない。  
化学兵器禁止法 : 該当しない。  
輸出貿易管理令 : 該当しない。  
じん肺法 : 法第2条、施行規則第2条別表 粉塵作業

---

#### 16. その他の情報

引用文献 : 近藤石灰工業株式会社 製品安全データシート  
純正化学株式会社 安全データシート  
三共精粉株式会社 製品安全データシート  
記載の取扱い : 全ての情報や文献を調査したわけでないため情報もれがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。記載内容のうち、含有量、物理化学的性質などの数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには十分注意願います。  
製品の譲渡時にはSDSを添付して下さい。  
SDSに関する : 営業部営業課  
お問い合わせ先 : Tel:0144-55-3788  
Fax:0144-55-1193